

# 「平成22年度事業報告」

## I 平成22年度事業報告

### 事業の状況

本財団設立趣旨の普及を図るとともに、その目的とする県内の優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理をはじめ、伝統に根ざした地域文化の創造を目指して各種の事業を実施した。

### (自然・文化財保護事業)

#### (1) 文化財の保護

「池田光政公御涼所跡」の『甘棠碑』の保存整備

##### 1) 整備委員会の設置 (委員長 越宗孝昌理事)

- ・ 第1回委員会：6月4日 (金)

整備の進め方の及び募金趣意書の作成・配布について協議

- ・ 第2回委員会：9月17日 (金)

募金の状況及び着工日程について協議

安全祈願祭 (着工) の10月5日実施を決定

- ・ 第3回委員会：3月9日 (水)

整備状況の確認及び完成式日程について協議

完成式の3月24日 (木) 実施を決定

##### 2) 完成式

- ・ 日時：3月24日 (木) 13:00～13:40
- ・ 場所：岡山市北区中原422「池田光政公御涼所跡」
- ・ 「甘棠碑」除幕、「花香実」植樹、事業推進協力者11団体、個人への感謝状贈呈

- ・工事費 約 660万円 (総事業費約700万円)

なお、整備した施設等は3月28日付けで土地所有者の岡山県に寄附し、4月1日付けで県から維持管理(無償)を受託した。

3) 「池田光政公御涼所跡」整備記念講演会

- ・「中原御涼所と甘棠碑 ～碑をめぐる人々～」

8月22日(日) 山陽新聞社さん太ホール

参加者 約170人

4) 整備募金に対する寄附

- ・募金期間 6月から9月末まで
- ・寄附金額 4,197,652円 (492件)

(2) 伝統芸能の普及振興

- ・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催 (国民文化祭応援事業)

岡山後楽園能舞台 10月2日(土)

番組 能 「羽衣」、「藤戸」

狂言 「魚説経」  
うおぜつきよう

出演者 観世流 藤井 千鶴子ほか

解説 京都府立大学教授 山崎 福之

- ・茶摘み(5月16日(日))、御田植祭り(6月13日(日))、観蓮節(7月4日(日))、名月鑑賞会(9月22日(水))などの伝統的な行事を行い、岡山後楽園の活用と伝統の維持に努めた。

(3) 伝統的工芸品の復活・普及支援

- ・備中漆の復活支援

真庭市(旧川上村)及び新見市から本財団が無償借用している土地に、備中漆の復活のため(社)林原共済会が漆苗を植栽育成。今年度は、備中漆の歴史と現状の紹介並びに作品展示による備中漆の良さをPRする高梁市成羽美術館での「備中漆の美ー復興と現在」展を共催。

(借上地面積)

真庭市 3.0050畝 植栽本数 760本

新見市 4.5638畝 植栽本数 1,800本

(4) 岡山後楽園「延養亭」の特別公開(国民文化祭応援事業)

岡山県と共催で一般を対象に特別公開を実施。

11月1日(月)～7日(日)

延べ参加者 180人

(5) 『築庭310年記念 絵図を持って、ガイドと一緒にあるきませんか!一温故知新 三百年前の後楽園ー』 後楽塾4期生卒塾記念特別ガイドを支援。

6月1日(火)

(6) 後楽園専任ボランティア「後楽塾」6期生の育成

後楽園及び郷土岡山の歴史・文化について学び、その知識を活かしながら、園内ガイドやイベントスタッフとして活動し広く後楽園の魅力を発信する「後楽塾」6期生(ボランティア期間:平成22年9月～24年8月)14人(うち外国語コース 英語3人、中国語2人)を育成。

期別	1	2	3	4	5	6	計
塾生	16	15	16	15	22	14	98人
うち外国語コース					英 6	英 3	9人
					中 4	中 2	6人

(7) 先賢の顕彰

1) 「あっ晴れ岡山人」刊行委員会に参加し、先賢の事蹟を紹介。

「あっ晴れ岡山人」 平成22年10月発刊

2) 「内田百閒と谷中安規」展を岡山県立美術館と共催実施。

2月1日(火)～3月21日(月)

なお、2月の各週木曜日及び2月12日、19日の土曜日に展示作

品解説を実施。

期間中の観覧者 9,935人

3) 「内田百閒と古里おかやま」の開催（国民文化祭応援事業）

岡山県、山陽新聞社と共催で古里おかやまを通じて百閒文学への理解を深めていただく会を開催。当日は、作品の朗読、琴の名手百閒にちなんだ琴の演奏のほか、百閒が夢にまで見た「大手饅頭」を配布。

・三光荘 アトリウム

5月29日（土）

参加者 250人

4) 「百閒ウォーク」の開催（国民文化祭応援事業）

後樂園をはじめ古京町の生家跡など百閒ゆかりの地をめぐる研修会を開催した。

5月29日（土）

参加者 39人（うち会員 22人）

(8) 「内田百閒コーナー」への資料展示

岡山県職員会館「三光荘」内に設けられた「内田百閒コーナー」に、文化財団所蔵の百閒関係資料を展示し、顕彰に努めた。

・テーマ：「内田百閒の人生をたどる」

(9) 内田百閒及び生田安宅（医学者）の遺品及び資料収集と整理保存

(10) 植物関係図書・文献（難波文庫）等財団収集資料の整理公開（寄託）

(11) 自由民権運動の先駆者 立石 岐<sup>ちまた</sup>（1847～1929）の事蹟を子どもに伝える絵本作成に協力。

「自由民権運動家 立石 岐」平成22年3月発刊

発行者 二宮歴史文化財顕彰会 目瀬守男先生監修

## (普及啓発事業)

### (1) 郷土文化講座等の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、講座及び講演会を開催した。

#### 1) 岡山県立図書館会場

ア 1月25日 (火)

「のれんによる町づくり」

講 師 加納容子 (染織家)

参加者 59人 (うち会員 47人)

イ 2月4日 (金)

「コンピュータ考古学で見た郷土の文化財」

講 師 新納 泉 (岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

参加者 76人 (うち会員 62人)

ウ 2月8日 (火)

「医学から科学へ -洋学者たちのあくなき挑戦-」

講 師 下山純正 (津山洋学資料館館長)

参加者 69人 (うち会員 54人)

エ 3月8日 (火)

「野鳥は大切な仲間 -野鳥観察から学んだ自然の仕組み-」

講 師 宮林英子 (落合野鳥の会会長)

参加者 76人 (うち会員 53人)

#### 2) 犬養木堂記念館 (木堂塾)

5月15日 (土)

木堂祭記念講話

・「政友会総裁としての犬養木堂」

講 師 時任 英人 (倉敷芸術科学大学教授)

参加者 80名

3) 岡崎嘉平太記念館 (山陽新聞社さん太ホール) (国民文化祭応援事業)

9月20日 (月)

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第九回講演会

- ・「岡崎嘉平太氏がめざした日中友好と世界平和への道」

講師 劉 徳有 (中華人民共和国文化部元副部長)

- ・シンポジウム「日中友好のかけ橋 4人の岡山人」

コーディネーター 天 児 慧 (早稲田大学国際学術院教授)

パネリスト 居 林 次 雄 (土光敏夫元秘書)

岡 崎 彬 (岡崎嘉平太長男)

片 岡 良 仁 (内山完造顕彰会代表)

時 任 英 人 (犬養木堂研究者)

参加者 280人

(2) 広報誌の発行

- ・「きび野」を4回発行した。

118号 6月30日

119号 9月30日

120号 1月1日

121号 3月31日

(3) 財団ニュースの発行

財団ニュース「お知らせ」を11回発行 (No.352~No.362) するとともに、財団ホームページに掲載した。

(4) 現地研修会

自然や文化的遺産への関心を高め意識の向上を図るため、現地研修会「バスの旅」及び「美術等鑑賞会」を実施した。

1) 自然と文化を訪ねるバスの旅

ア 「新庄村ゆりかごの小径と新庄宿を訪ねるコース」

・真庭郡新庄村 6月9日(水)

参加者80名(うち会員 73名)

イ 「夢二郷土美術館と夢二生家・少年山荘を訪ねるコース」

・瀬戸内市邑久町 6月12日(土)

参加者14名(うち会員 11名)

ウ 「トルストイ没後100年記念展「トルストイから聖書を送られた小西増太郎」、記念講演会「トルストイと野崎家」と野崎家ゆかりの地を訪ねるコース」

・倉敷市児島味野 11月20日(土)

参加者 43名(うち会員 40名)

## 2) 美術等鑑賞会

林原美術館

・企画展 画人大名「池田継政」

12月14日(火)

参加者 39名(うち会員 37名)

講師 林原美術館 学芸員 浅利 尚民

## (5) 印刷物等の作成・配布

本財団の収集資料や開催した講演会、講座等をまとめ、印刷、配布。

### 1) 「岡山の自然と文化」No.30

平成21年度開催の郷土文化講座講義録 4,000部(3月)

### 2) 「年代順にみる犬養木堂の書」 1,000部(10月)

### 3) 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第九回講演会講演集」 700部(12月)

### 4) 「遺墨日めくり 岡崎嘉平太の心」 500部(3月)

### 5) 21年度に財団制作ビデオをDVD化した岡山県人物シリーズ

「犬養木堂」、「内田百閒」、「岡崎嘉平太」、「津田永忠」及び20年度に改訂し、DVD化した特別名勝「後楽園」の5本を、郷土おかやまの素晴らしさを実感してもらおう契機としてもらうため、県内全

中学校（175校）に無償配布した。

(6) 文化財団の歩みの編集

「文化財団の歩み」の編集を進めた。

(7) インターネットのホームページ運用

広報手段としてより効果を高めるためや公益財団法人移行に備え、情報公開を効率的に行うためホームページの改訂作業を行った。

(地域文化振興事業)

(1) 伝統的工芸の振興

郷原漆器生産振興会が行う「郷原漆器（岡山県指定重要無形民俗文化財（民俗技術）」の復活と販路拡張を目指す展示即売会を広報面で支援した。

・晴れの国おかやま館（岡山市北区）

12月17日（金）～19日（日）

(2) 共催事業等

1) 第58回岡山県青年祭の共催

9月13日（日）

場 所 生涯学習センター（岡山市）

主 催 岡山県青年団協議会

2) 第25回「下津井節全国大会」の共催

10月2日（土）・3日（日）

場 所 倉敷市児島文化センター

主 催 下津井節振興会、児島瀬戸大橋まつり振興会

3) 「備中漆の美－復興と現在－」展の共催

10月22日（金）～12月5日（日）

場 所 高梁市成羽美術館（高梁市）

主 催 財団法人成羽町美術振興財団

- 4) 第8回おかやま県民文化祭、第19回中四国文化の集い「踊り・おどり・躍りフェスティバルin後楽園」の共催

11月6日(土)

場 所 岡山後楽園(岡山市)

主 催 おかやま県民文化祭実行委員会

- 5) トルストイ没後100年記念講演会「トルストイと野崎家」の共催

11月20日(日)

場 所 倉敷市児島文化センター

主 催 財団法人竜王会館

- 6) 平成22年度「岡山県自然保護センター写真展」の協賛

平成23年1月16日(日)～8月21日(日)

場 所 岡山県自然保護センター(和気町)等

主 催 岡山県自然保護センター、財団法人岡山県環境保全事業団

- 7) 後援

岡山県立美術館特別展「没後100年記念 三岸節子展」ほか44事業

- (3) 「郷土文化財団会員作品展」の開催

地域における創作活動の活性化に寄与するため、会員が制作した絵画、写真の展覧会を開催した。

・天神山プラザ

8月3日(水)～8日(月)

出 品 142点 (絵 画 101点、写 真 41点 )

入場者 800人

- (4) ウメ、サクラ、モモ等の苗木交付

景観の保護及び美化を図るため、苗木を交付した。

・美作市(美作ラグビー・サッカー場隣接地他)

オオヤマザクラ等 100本

- ・吉備中央町（岩倉公園北部園地）

ソメイヨシノ等 100本

- ・津山市（梅の里公園）

鹿児島紅梅等 100本

## （受託事業）

- （1） 岡山後樂園の管理運営

岡山後樂園の管理を県から受託し、実施した。

- （2） タンチョウ野外行動調査並びに自然保護センターにおけるツル及び傷病鳥獣の飼育、入園者に対するガイド・指導等

県並びに（財）岡山県環境保全事業団から受託し、実施した。なお、タンチョウ野外行動調査は鳥インフルエンザ等の影響から12月までの実施となった。

- （3） 犬養木堂記念館、生家の管理運営

指定管理者として管理運営及び資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

- 1) 第16回犬養木堂顕彰児童生徒書道展

4月19日（月）～5月20日（木）

- 2) 一品展13 6月2日（水）～6月21日（月）

- 3) 一品展14 8月4日（水）～8月23日（月）

- 4) 秋の企画展「年代順にみる犬養木堂の書」（国民文化祭応援事業）

10月13日（水）～11月29日（月）

講演会 10月24日（日）

「犬養木堂と内藤湖南・長尾雨山・羅雪堂との墨縁」

講師 杉村邦彦（京都教育大学名誉教授、書論研究会会長）

- 5) 一品展15 12月8日（水）～12月27日（月）

- 6) 新春特別陳列 1月6日（木）～1月24日（月）

- 7) 一品展16 2月9日(水)～2月28日(月)
  - 8) 木堂がこよなく愛した ハナノキ写真展  
3月16日(水)～4月4日(月)
  - 9) 第17回犬養木堂顕彰児童生徒書道展 作品募集、審査表彰  
3月6日(日) 表彰式
- (4) 岡崎嘉平太記念館の管理運営及び資料収集整理並びに企画展  
指定管理者として管理運営、資料収集等の業務を実施した。
- 1) 第4回「嘉平太が愛したふるさと岡山 心なごむ風景 写真展」
    - ・岡崎嘉平太記念館会場  
5月26日(水)～6月27日(日)
    - ・天満屋地下タウン アートスペース会場  
6月30日(水)～7月5日(月)
  - 2) 企画展 「上海と岡崎嘉平太」  
9月22日(水)～12月27日(月)
  - 3) 「嘉平太が愛したふる里 こども作品展」  
3月2日(水)～3月10日(木)
  - 4) 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行(7月・1月)
  - 5) 「岡崎嘉平太もったいない人形劇」公演  
吉備中央町4幼稚園(1月～3月)
- (5) 第十回 岡山県「内田百閒文学賞」の作品募集等  
昨年度に引き続き文学賞作品募集等に関する業務を県から受託し、今年度は  
作品選考、表彰等の企画・運営を行った。
- ・応募締切 5月31日
  - ・応募作品数 331編(県内 107編、県外 224編)
  - ・運営委員会(6月30日:運営委員 6人 審査要領の制定、審査員の  
選任等)
  - ・第1次審査会(7月23日:審査員 12人) 43編を選考

- ・第2次審査会（10月8日：審査員 6人） 13編を選考
- ・最終審査会（12月1日：審査員 小川洋子、奥泉光、重松清）
  - 最優秀賞（1編）
    - 「猿尾の記憶」浅沼郁男（倉敷市）
  - 優秀賞（3編）
    - 「くるり用水のかめんた」小菌ミサオ（岡山市）
    - 「物原を踏みて」吉野栄（岡山市）
    - 「震える水」畔地里美（石川県加賀市）
- ・表彰式及び座談会「重松清先生と受賞者のフリートーク」（重松清、受賞者4人） 3月18日 岡山県立美術館